

広報
9月号

東京都製紙原料協同組合

発行所
東京都製紙原料協同組合
台東区台東3-16-1
TEL (3831) 7980
発行人 赤染清康
編集 広報部



「田園風景と秋の空」

〈 主 な 内 容 〉

時の視点	清風会研修会及び納涼会	事務局記	13
再生資源回収業の変遷	高橋美代子のマナー・アドバイス その1		14
文京支部長 齋藤浩二	2~4	支部便り	
時の話題	研修旅行	山手支部 鈴木一徳	15
静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会	4~6	納涼会を開催	台東支部 近藤達也 15
製本工組との古紙関係協議会	6~8	納涼会を開催	文京支部 梨本竜範 15~16
東京返本加工協同組合 第51回 通常総会開催		支部会開催	千代田支部 名古路勝彦 16
東京返本加工協同組合 事務局記	8~10	組合員の広場	
賛助会員制度の導入について		組合事業紹介・事業部	16
東京都製紙原料協同組合	10~11	共同購入についてのお知らせ	17
TSマーク(仮称)認定制度導入と		支部スケジュール	17
正式名称「TPICO」の決定	11	お知らせ	
直納部委員会及び納涼会	事務局記	「10月会議・催事予定」「古紙価格」「組織変更」「訃報」	18
青年部納涼会	青年部幹事長 田中淳一	12	
組合ゴルフコンペ	山手支部 鈴木邦浩	12~13	会議概要 〔6月・7月〕 18~25
第38回製本人懇親ゴルフ大会			
理事 宮内啓悟	13	編集後記	広報部部长 清水弘允 25
		広告	26~32

時の視点

再生資源回収業の変遷

文京支部長 齋藤浩二

江戸時代まで

文献によれば仁和二年（886年）宇多天皇の時代には、既に紙の再生が行われていたと言う。しかし、この時代はまだ紙自体が貴族しか使えない高級品であり、紙が庶民の生活習慣に溶け込むようになったのは江戸時代の事である。

寛文（1661～73年）延宝の頃から浅草周辺で再生紙が作られたらしく、浅草紙と呼ばれた。享保年間（1684～88年）には、今の田原町辺りで紙が作られ始め、それが今戸、山谷に及んだと言われ、元禄時代（1688～1704年）には日本橋馬喰町において紙屋五兵衛が浅草紙と称して下等の塵紙を売り始め、非常に繁栄したとの記録がある。

明治時代の黎明期

その後、明治初年にかけて江戸は頻繁と大火に見舞われ、全国的に凶作が続き土地を離れた農民が都市に集中しスラム街を形成した。再生資源の低価さ使用済みの物を扱う性質上、そこに再生資源回収業が根付いた。その後、明治末期から大正初期にかけて、收拾人からも買出人からも買う兼営の者から、専門の業者が分かれて行った。

明治17年に上野駅が開設され、貧しい東北の農民が都市に流入し、繁華街に廃棄された紙屑、ボロ等があふれ、浅草、下谷には屑買い、屑拾いが定着し、古物商が現れ、建場が林立した。これらの屑紙を原料として再加工する漉き返し紙の製紙工場と原料問屋が田原町、今戸、三ノ輪付近に進

出し、東京名物となった。

明治25年頃になると、各種工業の発達とともに再生資源の種類も多くなり、業に携わる者も増加し、店舗も浅草から下谷、竜泉まで及んだ。

明治40年、コレラ、赤痢などの伝染病が蔓延し、衛生上、都市美観上の観点から、政府は繁華街となった浅草から屑物業者の移転を命じた。

移転先は日暮里、千住元宿、牛田の三ヶ所が指定されたが大部分は営業に有利で交通至便な日暮里、三河島に移住した。しかし昭和2年に防災計画に基づく近代都市を実現するため、日暮里、三河島の再生資源回収業者らは荒川放水路以北への退去を命じられた。その時に再生資源回収業者は足立区の本木に集結した。

建場は資源の集まる場所として重要な役割を担ってきたが、商品がすべて清潔なものであるとは言えないため、比較的下層な人々（失業者など）が従事し、ある意味、失業者のたまり場であった。これが建場の原点となった。（私も上野公園、奥戸土手沿いに蟻の町へ当時の三輪車で回収した事を覚えている。）

建場の業務内容は拾い屋が、ボロ、紙、ヒカリモノ等をだまかに分類して買い上げる。更に建場は買った屑を細かく分類し、それを品名ごとに約三尺立方の木枠の中に詰め込み、足で踏んで四角に固め、枠を外して縄をかけて四角ものにする。これを「角」と呼んだ。「角」がたまると、リヤカー、大八車、三輪オートバイなどで問屋に納める。その事によって紙問屋、鉄問屋、ボロ問屋に分かれ、問屋の専門が明確になった。

大正時代

1923年（大正12年）関東大震災が起き従来あったスラム街が壊滅、屑を扱う多くの業者は日暮里、南千住、西新井などに移った。これにより日暮里は全国の屑物業の中心と言われ、特にボ

口と紙屑を扱う業者が多数集まった。

当時の古新聞、古雑誌は製紙原料として使われている現在と違って、主に包装資材として用いられた。古新聞は選別されて包装資材、古雑誌は倍判、菊判、四六倍判などの形状によって製袋材料となり、リンゴ産地に送られ果樹の保護袋として使用された。

終戦後

1945年（昭和20年）終戦を迎えた日本の都市は空襲によって廃墟となった。

物資も乏しく屑は貴重な資源として需要がたかまっていった。戦後の経済復興期は、バタヤ時代と言ってバタヤの活動が活発になっていった。終戦直後の古新聞の価格が1貫匁200円、一升瓶1本約110円というすさまじい時代であった。一方、鉄屑、非鉄はアメリカの政策により、重工業の操業が認められない状況であったため、低い値段で低迷していた。その結果、戦後はすぐ使えるものとして、古着は飛ぶように売れ、東京に残った建場は古着屋として財をなした者が多い。

1948年（昭和23年）頃、古新聞が貫当り200円以上の高値を呼びリンゴ産地へ果樹防止用の袋材料として飛ぶように売れた。しかし、昭和24年に板紙、和紙、一部の洋紙の統制が撤廃され、徐々に受給状態に応じて、種類別に紙の統制解除が進むようになり、大手製紙会社でもようやく設備の拡張に力を入れ始め、加熱していた古紙の需要バランスも正常化された。

ところが昭和25年に朝鮮戦争が勃発したことによって原料の輸入が激減し、国内のパルプが高騰した。昭和25年末から26年半ばまで古紙は再び高騰し、多くの建場が古紙を主力商品として扱うようになった。

しかし朝鮮戦争が終結した事で、特需ブームは去

り価格も値下げに転じた。

高度成長期

1960年（昭和35年）高度成長期に入り足立区周辺には十条板紙、摂津板紙、高崎製紙などが建設されたが、この事は足立区に古紙の扱う業者が集積していた事を反映している。昭和34年の価格が新聞11円、段ボール11円。昭和35年には新聞7円、段ボール5円50銭と不安定な時期を迎え、この事が回収人の転廃業を促し、建場業者も安全なアパート経営等に転業した。

収集人の減少と古紙の発生、大量集荷という時代の流れの中で、1965年（昭和40年）頃から、ちり紙交換と集団回収が広がり、新たな時代を迎えた。

1973年（昭和48年）第4次中東戦争の勃発に伴い、第一次オイルショックが引き起こされた。使用する石油のほとんどが輸入原油に依存してきた日本経済は直撃を受け特に洗剤、トイレトペーパーなどの買い占めや、売り惜しみが激しい物価上昇につながって行った。この様な中、古紙価格は包装革命による段ボール市況の好調を軸に上昇していった。

第一次石油危機を契機に古紙業界はこれまでの小型プレス機や三方締めプレス機から、欧米式の大形ベラーへと移行し、機械の大型化が進行した。またオイルショックを契機として国内のゴミ資源化への関心が高まり、資源化に取り組む自治体も次第に増加していった。

日本の板紙の歴史

1886年（明治19年）、現在の大日本印刷の前進である秀英社の創立者佐久間貞一がオランダの麦藁を原料とした黄ボールを真似て研究を重ね、手漉きから機械による生産をはじめ、日産1トン黄板の抄造を開始したのが板紙の始まりとさ

れている。その後、黄ボールの原料は麦藁よりも歩留まりが良くて大量に発生する稲藁が使用されることになった。これを機に稲作の多い地域に製紙メーカーが作られた。

関東平野に高崎製紙、田島応用化学、越後平野に北越製紙、富山平野に立山製紙、金沢平野に加賀製紙、濃尾平野に東海板紙と三興製紙、岡山平野に山陽板紙と岡山製紙、福山平野に美作製紙と福山製紙、唐津平野に佐賀板紙。

これに加えて東京、大阪等の物流の多い所は使用された縄、俵の発生が多く、これが稲藁より歩留まりが良いことに目をつけ、東京では千住製紙、関西では摂津板紙が誕生した。

(東京協組の文京・山手支部共催勉強会から抜粋)

時の話題

静岡県紙業協会家庭紙部会 との懇談会

平成28年6月14日(火)午後2時00分～
於)富士工業技術支援センター

出席者：静岡県紙業協会家庭紙部会 19名

(内、家庭紙メーカー16名)

静岡県製紙原料商業組合 10名

東京都製紙原料協同組合 10名

三団体代表挨拶

イデシギョー(株)井出会長

[静岡県紙業協会家庭紙部会]

日本家庭紙工業会の発表によるとトイレット・ペーパーの4月の販売が11.9%増えています。ただし、古紙を使う再生紙をメーカーでは、そん

なに忙しくはなく在庫も増えてきました。原因はこの頃、パルプ価格と石油価格が下がり、パルプ紙のトイレット・ペーパーが多く出ていましたが、今は元に戻っています。家庭紙メーカーは製品価格が下がらないよう努力して利益を上げ、健全な経営を保っています。これからも今の状態を継続出来るよう頑張っていきたいと思っています。

赤染理事長 [東京都製紙原料協同組合]

原料問屋としては家庭紙メーカーの安定経営化を強く願っています。年々、産業古紙は減少傾向にあり、長期的に見ても減少傾向にあります。出版・製本・印刷業界の経営状況が良くなく、在庫データもかんばしくない。なんとか家庭紙メーカーへ原料を安定供給できるよう努力しているところであります。

菊池理事長 [静岡県製紙原料商業組合]

先日の総会で改選が有り、2期目の理事長として再選されました。今後、遠くから来る東京協組に負けないよう、静岡商組から1名でも多く会議に参加するよう努力していきたいと思っています。来月には岳排、8月はお盆の関係で操短があります。先月、裾物を扱う静岡の主要16社の在庫が20%となり大変厳しい状態が続いております。本日は宜しくお願い致します。

市況全般と家庭紙原料について

上田直納部長 [東京都製紙原料協同組合]

古紙全般の市況は、裾物3品の発生が低位安定。段ボールの生産は微増。出版関係が悪く、純然たる雑誌の発生は激減して最盛期の半分の量。輸出は為替の影響などにより上値が固いが、一部では国内外で価格が逆転するケースも見られた。

産業古紙全般について

富澤直納副部長 [東京都製紙原料協同組合]

東京協組43社の上物在庫データを見ていただくと、4月の家庭紙メーカー向けは良かった事が判ります。オフィスミックスが多く出ましたが、品目により量が落ちているものがありました。産業古紙全般の発生は苦戦しています。産業古紙は以前、産業系が4、出版系が6の構成でしたが、現在は5対5くらいになっており出版系が大きく落ちています。2006年をピークに売り上げが減少し、現在は1兆6千億円を切るほどに落ちています。雑誌は苦戦しており取次店の返品データでは毎月、前年比で85%を更新しています。雑誌においては出版各社に打つ手がなく、回復の兆しがありません。

商業印刷では、チラシ広告効果に広告主から疑問の声が上がり、チラシが減少して発生が少なくなっています。産業古紙は、良くなる要因が見当たらないのが現状です。

産業古紙のデータより

鈴木直納部員 [東京都製紙原料協同組合]

今年の1月～5月13日までで出版・印刷関係で倒産した会社が22社あります。2015年度は38社でした。3月15日に大手の取次会社が倒産した事により連鎖的に書店が倒産しました。書店の倒産件数は18社28店舗。ネットが反映し本屋がなかなか見当たらない事からも理解できます。これだけ書店が減って発生が少なくなっているのに古紙間屋からすると、なかなか仕入値が下がらないのは何故か。2015年現在、日本全国の古紙ヤード1,888ヶ所あり、5年前に比べると119ヶ所増えています。関東では547ヶ所で25ヶ所増えています。静岡中部地区は391ヶ所で27ヶ所増えています。全国で1ヤード当たりの年間古紙回収量は11,521ト

ン、月平均960トンで5年前より61トン減っています。古紙は減っているのに古紙ヤードは増え、取扱い量が減っている。古紙が減っているのに古紙ヤードが増えて、少ない物を求めて仕入れが下がりにくくなっているのが現状です。

古紙回収量は、2007年の2,332万トンをピークに、現在は2,150万トンくらいで推移し、以後、下がっておりません。減らない要因は、雑紙と機密文書が古紙の掘り起しで増え現在の数字を保っています。

又、中国への上物古紙の輸出は前年比で100%を越えている。海外からの日本への古紙の引合いは強い。

集荷について

近藤(昌)副理事長 [東京都製紙原料協同組合]

発生は、3月が繁忙期で多かったが4月に入り落ち始め5月、6月と良くない。同業他社に聞かしても、6月でこれほど悪い年は今までにないとの話です。7月、8月は、もともと発生が少ないので秋口に期待している状態です。ただ、以前は10月は3月と変わらないくらいの繁忙月でしたが、ここ数年は通常月と変わらないようになってしまいました。印刷・製本関係では、じかに仕事を受けている会社は受けた仕事を自社で消化している為、他に仕事を廻すほどの仕事量がないのが現状です。最近では、じか受けの会社でさえ仕事量が減っているため、平日に休む製本会社や倒産・廃業する会社も増えて来ています。仕事が減った原因として、以前ですと旅行パンフ、自動車カタログ、携帯電話の説明書が多かったが、今はインターネットを使い、紙の使用が減ってしまっている。集荷としては建値が上昇する事を期待している。

静岡の状況について

【静岡県製紙原料商業組合】

3月～4月にかけて発生は良かったが、5月のGW明けより発生が落ちてしまった。6月も引き続き悪く、このまま7月、8月の非発生期に入ってしまうのが気がかりです。

家庭紙メーカーの現状

【静岡県紙業協会家庭紙部会】

古紙の入荷は、現在は順調な所が多い。製品出荷は横ばい。在庫は、ほどほどに持っているメーカーが多いが量は多くない。

質疑応答

M：メーカー G：原料問屋

Q-M：中国の回収率が上がっていると聞いているがどのくらいなのか？

A-G：(公財)古紙再生促進センターのデータでは、中国の国内古紙回収率、2014年49.5%、2015年48.2%と落ちている。これは中国の経済減速が大きな背景にある。

製本工組との古紙関係協議会

平成28年7月22日(金)午後4時30分～

於)東京都製本工業組合会議室

出席者： 東京都製本工業組合 9名
東京都製紙原料協同組合 9名

大野理事長 挨拶(東京都製本工業組合)

日版が4月から7月にかけて、8誌の月刊誌について割引販売を始めました。8月～9月は全国の350書店で割引販売をして、少しでも返本を少なくする動きが始まりました。出版社は今、大変な状況におかれていて、特に雑誌の販売が悪く返

本率が40%を越している事もあり、ひとつの対策として打ち出してきたようであります。本日はお互いの業界が良くなるような話し合いが出来たらと思います。



赤染理事長 挨拶(東京都製紙原料協同組合)

印刷情報紙が6月は参議院選挙の影響もあり前年比を上回ったが、前月までは26ヶ月連続の前年割れの数字が続いています。それに伴い古紙の発生が減少している状況です。段原紙は横ばいを維持していますが、今後、古紙の発生が良くなっていくとは思えません。

東京協組ではSAPPSを手本としたTSマーク(仮称)という個人情報保護に関する認定制度の取り組みを始めました。

元官僚で現在はテレビ等のコメンティーターの話では、アベノミクスの3本の矢も終わり、東京オリンピックが終わると経済は大変厳しい状況になると言っていました。企業のビジネス・イノベーションは大手企業より中小企業の方が実現しやすいとも言っており、邦楽業界が、売上ピーク6千億円ほどが、現在は2千300億円ほどに落ちており、IT化、その他の影響が非常に大きいと話していました。本日は情報交換を通じてお互いが良い方向にすすめられたらと思います。

出版業界の現状

出版業界は構造的に変わってきました。ポケモンのカードゲームが電子機器の発達によりスマホ配

信に変わり、紙から離れてきています。ただ雑誌企画としては、ポケモンのような人気キャラクターは取り扱われる量が多くなります。

文芸作品は売れ行きが悪く昨年を上回る結果が出ていますが、文庫本は、今年の1月～5月で8%落ちています。2015年の出版物の販売額は書籍がマイナス1.7%、雑誌がマイナス8.4%と悪く、1年で急激に悪い状態となりました。そして、今年の1月から5月の間で出版史上初めて書籍の売り上げが雑誌の売り上げを上回りました。書籍は部数で前年対比プラス2.3%、金額でも2.1%のプラスで上向きです。雑誌は月刊誌・週刊誌の合計で部数がマイナス8.2%、金額でマイナス7.4%となっています。

今年の1月～5月の返品率は、書籍が42.4%で前年と同じ、雑誌が45.5%で1.7%改善されています。雑誌の返品率が減っている理由は、返品率を減らすため大手取次店が昨年の秋から出版社に協力の要請をしているためと思われます。それにより週刊誌・月刊誌の発行部数や発行金額が減っています。取次店の生き残り効果が出てきているからと考えられます。ただ製本業界は製作部数が減るので困っています。

商業印刷関係

伝票印刷関係は、5月のGW明けの落ち込みが酷い。PCとプリンターの普及により伝票が白紙になり、伝票製本が減少しています。中綴じは単価が安いので扱う製本会社が減少しつつあります。企業向けカレンダーの製作は大手のみで、中堅どころの会社はほとんど作らない状況です。名入れカレンダーも減っています。

紙製品部会

中綴じは酷い状態でバインダーは多少、動いていますがカレンダーは、そこそこだが手加工の業者

が減りました。

手帳はカバー等の手作業をする所が少なく、内職をする人が減っており人手不足で大変です。手作業の仕事は内職をすると採算があわないようです。カレンダーは、金具系がほとんどなく、タンザック(紙)が主流となり、卓上用のキャラクター物は多く出ている。

古紙業界の現状

古紙全般及び産業古紙に関する現況

上田直納部長(東京都製紙原料協同組合)

裾物(段ボール、新聞、雑誌)及び産業古紙

ここ数年、古紙の販売代金はほとんど変わらず、業者の扱い数量も差がない。かかる経費もほとんど変わらない。

産業古紙でコート系は海外ではあまり使われないので輸出では多く出ていかない。中国では、特に市外地の人件費が安く、臭いや混じり物がある古紙でも、仕分けしても採算が合うので使われている。日本国内では高品質の古紙が使われている。日本国内の洋紙メーカーの業績が良くない。工場も多く閉鎖され、古紙の発生が悪い。紙の払い出し量も落ちており低位安定状態。

特更ではマンガ本の売れ行きが良くない。少年ジャンプは最盛期の3分の1で、少年マガジンは4分の1に落ちている。

特更紙は安定価格で推移している。トイレット紙は、使用と古紙の発生に関係性がなく、安定した品質が求められる。

集荷の現状

長井集荷部長(東京都製紙原料協同組合)

集荷先では家族経営の小さな製本屋が多い。そこへ大手製本が参入し、集荷業者の仕事が吸収され、廃業するケースが多い。又、集荷の後継者がいない事も大きな理由となっている。

東京協組の組合員数は多い時で450社。現在は168社になっている。脱退の理由は後継者がなく、扱い量が減っているため、どうしても現在の仕事量と収入の関係と、サラリーマンでの給与との比較をしてしまう。どこの業界でも中小企業では後継者がいない問題が大きいと聞いている。

東京返本加工協同組合

第51回 通常総会開催

東京返本加工協同組合 事務局記

去る、2016年8月24日(水) 東京ドームホテルにて5階『初音』の間に於いて東京返本加工協同組合 第51回(平成27年度)通常総会が16時より開催されました。

ご来賓として、東京都製紙原料協同組合 理事長 赤染清康様、出版共同流通株式会社 取締役蓮田センター所長 長田 浩様、西川会計 代表税理士 西川豪康様にご出席を賜り、藤川理事の司会により総会が開会されました。

審議に先立ち、工藤理事長より冒頭、取扱業量減の厳しい中ですが、よりよい古紙として不純物を取り除き品質を高める努力を継続して参りますので、ご協力をお願いしたいと挨拶されました。

続いて司会者より、組合総数20名、出席17名、委任3名であり、今総会が成立した旨の報告がなされました。

議長選出では、「司会者一任」と会場からの声により工藤理事長が議長に選任され審議に入りました。

今総会では、第1号議案～第10号議案(①事業報告、②決算報告、③剰余金処分案、④事業計画案、⑤収支予算案、⑥借入金残高及び債務保証最高限度額、⑦加工手数料、経費の賦課、加入手数料、⑧定款一部変更、⑨理事及び監事改選、

⑩役員報酬の案件が提案されており、全案件について議長並びに各理事より上程され、各議案とも全会一致にて原案通りに可決されました。

事業報告では、出版市況のダウントレンド影響で雑誌プレス加工量 前年比90.8%、組合直扱い分 前年比97.5%と、前年を下回る扱い量となり出版物取扱量がマイナス傾向にあり、取次会社の効率販売施策推進の影響が顕著に反映された状況の中、取次会社のプレス化促進会議等への積極的な参画で、強い連携の維持継続を図り、プレス化率を安定的な水準を保ち維持出来た事等が報告されました。

全ての議事終了後、ご来賓を代表して出版共同流通株式会社 取締役蓮田センター所長 長田浩様より祝意と雑誌プレス業量動向分析や良質な雑誌が読者創造につながる事例、また雑誌売上ダウントレンドに歯止めをかける店舗での取り組みについて紹介され、古紙業量の縮小にも歯止めを掛けていきたいとのご挨拶を賜りました。

閉会の辞では、司会より進行協力への感謝が述べられ閉会致しました。



総会に引き続き開催された懇親会は、会場を42階『シリウス』の間に移し日本出版販売株式会社 専務取締役 安西浩和様、東京都製紙原料協同組合 理事長 赤染清康様をはじめ日本出版販売株式会社様、出版共同流通株式会社様、総勢53名にご参加をいただき、富澤理事の司会進行で総会懇親会が開催されました。

開会に当たって、工藤理事長より開会挨拶がなされ、厳しい状況の中ですが業界一体となって協力していきたいと挨拶があり、引き続きご来賓を代表して、安西専務様、赤染理事長様よりご祝辞を賜り、出版協同流通株式会社代表取締役社長 高田 誠様の乾杯の音頭で開宴となりました。



した。

宴中、日本出版販売株式会社様、出版共同流通株式会社様、東京都製紙原料協同組合様、西川会計様、東京都中小企業団体中央会様よりご出席のご来賓の皆様のご紹介とご挨拶がありました。また、引き続き今総会で新任となった、上田理事、鈴木専務理事並びに退任された羽山専務理事の挨拶があり皆様に紹介されました。

余興として、「全国お取り寄せ名品」納涼ビンゴ大会が行われ、出席者の中から大勢の方々が当選され、満面の笑顔で商品を受け取られ、皆



様から盛大な拍手がおくられていました。

立食形式の会場では、各テーブルでいくつもの輪ができ、楽しい情報交換の場となりましたが、宴たけなわの中、齋藤副理事長の中締めの挨拶をもって19時50分にお開きとなりました。

お忙しい中、総会ならびに懇親会にご出席を賜りました皆様、誠にありがとうございました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

出版共同流通（株）取締役蓮田センター所長 長田 浩様の祝辞より

「雑誌業界の現況について」

雑誌の販売額が17年連続でマイナスといったダウントレンドの中、東京返本加工協同組合は51期も昨年に引き続き黒字決算となりお祝い申し上げます。

雑誌は広告収入と販売収入から、制作費、主に編集人件費を差し引いたものが粗利になりますが、その制作費を削りにかかりますと、雑誌は更に売れなくなります。これが雑誌不況、負の連鎖です。

情報誌など売上減少が避けられないジャンルはありますが、なんとか良質な雑誌を作ってください、その雑誌の送品件数を増やし、売上減少を食い止め、その結果として返品もそこそこといった状態にしてほしいものです。

NHKで放映中の朝ドラ『とと姉ちゃん』ですが、このドラマは家庭向け総合生活雑誌の『暮らしの手帳』を創刊した女性「大橋しずこ」の生涯を描いた作品です。ドラマのワンシーンに、主人公の常子が創刊した雑誌「スタアの装い」に対して、天才編集者 花山が言った「読者を創造する」という言葉があります。

この「読者を創造する」という言葉は、およそ70年たった今でも変わらない大切な事だと思います。

ファッション誌のCanCamは80万部あった発行数が7年足らずで12万部にまで落ち込んだのに対して、創刊して70年近く経つ「暮らしの手帖」は、未だに20万部の発行数を維持しています。それも広告が入っていない雑誌なのにはです。いま出版社に求めたいのは、良質な雑誌『読者を創造できる雑誌』を作って頂きたいという事で



す。雑誌が売れば返品も増えます。

話は変わりますがコンビニの店舗数ですが、この10年で約14,000店増えています。逆に書店は4,000店減っています。この10年で増えたコンビニの店舗数と、現在残っている書店数はほぼ同数です。書店・コンビニを合わせた店舗数は増えている事になります。昨年この場で、食品スーパーの雑誌売上拡大の話をしました。その結果、スーパーはなんとか頑張っていますが、軒数の増えているコンビニの雑誌売上は落ち続けています。

雑誌のダウントレンドが避けられない状況はわかりませんが、今のコンビニは、書店にPOSの導入拡大が進んだ頃と、同じ状況となっています。

当時一部書店は、POSが売上を上げてくれると勘違いし、売り場作りの手間を省いて、売上を大きく落とした書店がありました。逆にPOSを道具として利用し、そこで余った労力を店頭活性化策に費やした書店は、売上を伸ばしました。

今のコンビニは人手不足もありますが、雑誌売り場が煩雑な店舗が増えており、近寄りたくないコーナーとなっています。

逆にオペレーションがきちり出来ていて、きれいな売り場を保っている店舗、様々な企画を展開している店舗では売上を伸ばしています。

日販の営業メンバーが、「行列の出来るコンビニを創ろう！」というテーマで、コンビニ9店舗で、スタンプラリー企画を実施したところ、売上UPの成果が得られました。コンビニの店舗指導は簡単な事ではありませんが、売れている雑誌・売れる雑誌はあるので、なんとか努力し雑誌を売る事で、コンビニ店舗全体の売上アップにつなげて頂きたいと思います。

最後になりますが、東京返本加工協同組合と組合員各社様のますますの発展と皆様のご健勝を祈念しまして、簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。

賛助会員制度の導入について

東京都製紙原料協同組合

5月の第60回通常総会において、新たに賛助会員制度の導入が可決されました。

賛助会員制度の目的は、本組合の外部関係者の本組合に対する協力、理解を高めることにより、本組合の事業活動の推進に資することです。

資格を有する者は、本組合の主旨に賛同し、本組合の事業の円滑な実施に協力しようとする者となります。

賛助会員に対する事業は次のようになります。

〔1〕本組合が作成又は発行する資料の提供
〔2〕本組合又は組合員との情報交換のための懇談会等の開催

〔3〕制度の目的を達成するために必要な事業
賛助会員加入には、賛助会員加入申込書と会社案内又は、登記簿謄本が必要となります。

加入後は、月会費として4,000円を毎月組合

に納めてもらいます。(入会金は無料)

賛助会員の特典

1. 組合広報誌を毎号贈呈
2. 広報誌に無料で広告掲載が出来る。
3. 広報紙面において加入後1回に限り、賛助会員紹介として企業紹介・事業紹介をする事が出来る。
4. 組合ホームページに無料でバナー広告を掲載出来る。
5. 賛助会員の共同購入事業を詳しく紹介するための講習会を実施する事が出来る。
6. 名刺に組合賛助会員である表示が出来る。
7. 年1回、組合総会の懇親会に参加する事が出来る。

以上となります。

賛助会員にご加入希望の方、及び、入会のご紹介をいただける方は組合事務局へご連絡ください。詳細についてご案内致します。

TSマーク(仮称)認定制度導入と 正式名称「TPICO」の決定

今年の6月よりTSマーク(仮称)の認定制度が導入されました。

TSマーク(仮称)とは、組合独自の個人情報保護体制制度の事です。

内容は、プライバシーマーク(Pマーク)とほぼ同内容を含み、取得時間と労力及び費用を簡素化し、組合の独自内容を付け加えた制度です。

行政機関などの応札基準に適合しており、いくつかの団体や一部大手企業の取引条件にも適合しております。又、製本工組でも同様の制度を導入して10年以上が経過しております。

是非、この機会に個人情報保護体制制度の説明会にご参加いただき、制度内容をご確認された上で制度認定を受けられたらと思います。(11月開

催予定)

第1回説明会と認定講習

6月23日(木)に説明会が行われ、第1回認定講習会を7月26日(火)と8月1日(月)に実施しました。受講参加者は13社14名でした。講習期間中に受講者の中から、この認定制度の講習を受けている事で、現取引先との良好な関係が継続された等のエピソードが報告されています。

正式名称は TPICO (ティピコ)

9月度の理事会においてTSマーク(仮称)の正式名称がTPICO(ティピコ)に決まりました。内容は「東京協組 個人情報管理協会」となります。

**tokyokyouso privacy information
conservation organization**

**T (東京協組) P (プライバシー・個人)
I (インフォメーション・情報)
C (コンサベーション・管理)
O (オーガニゼーション・協会)**

TPICO 第2回説明会と認定講習予定

好評につき下記のようにTPICO第2回認定講習を開催致します。

説明会：11月1日(火) 午後6時～7時

認定講習：11月22日(火)と11月28日(月)

の2日間。時間は、両日とも午後6時～9時

*説明会は制度内容の説明で認定のための講習ではありません。ただ、説明会に参加されないと認定講習は受講できませんのであらかじめご承知おきください。

詳しいご案内は、10月上旬にお知らせします。

直納部委員会及び納涼会

東京都製紙原料協同組合 事務局記

日時：平成28年8月25日（木）

午後5時～直納部委員会

午後5時30分～納涼会

場所：上野「翠鳳」 参加者：39名

8月25日（木）上野「翠鳳」に於いて直納部委員会と納涼会が開催されました。

午後5時から直納部委員会が始まりました。

上田直納部長の挨拶の後、各商社から輸出事況の説明がありました。今年6月より裾物の共販輸出が始まり、新たに日商岩井紙パルプ（株）が商社として加わりました。

その後は、ご来賓参加の坂田秀一郎顧問と、近藤（昌）副理事長の紹介がありました。

今年の納涼会は昨年と場所が違い、料理も中華料理で今までとは違った雰囲気でした。参加者も大変な盛り上がりとなり、楽しい歓談のひと時が過ぎ閉会となりました。

青年部納涼会

青年部幹事長 田中淳一

7月19日（火）に青年部の納涼会を和幸紙業（株）の宮内さんの紹介で屋形船を貸切り、総勢23名で開催いたしました。

思ったより大きい船で掘りごたつになっており大柄な私でも皆に迷惑を掛けることなくゆったり座る事が出来ました。

まず高橋青年部長の挨拶、工藤嗣人前幹事長の乾杯で始まりました。当日は天候にも恵まれ美味しい料理とお酒を堪能し、途中船上に出て綺麗な

夜景を見る事も出来ました。

お酒も進み1時間位した所でサプライズとして（株）起多邑の工藤充彦さん・（株）増田商店の増田悦宏さん・美濃紙業（株）の近藤英彰さんが7月生まれと言う事でケーキを用意し船内の明かりをおとし音楽を流してハッピーバースデーを歌い喜んでいただきました。ケーキのおすそ分けいただき

その後、カラオケなどで大いに盛り上がり、あっという間に2時間30分が過ぎて時間が足りな



い位で、最後に宮内さんに中締めをお願いして乗船場とは違う晴海にて下船し解散となりました。

組合ゴルフコンペ

山手支部 鈴木邦浩

7月2日、東京協組ゴルフコンペが豊里ゴルフ



クラブで製本工組・紙器組合から4名のお客様をお迎えして、5組20名参加のもと開催されまし

た。

梅雨真っ盛りの中、好天には恵まれましたが、まるで亜熱帯の国にいる様な蒸し暑さ、キャディーさんも外国の方々に異国情緒たっぷりの雰囲気の中で皆さんゴルフを楽しんでおられました。

私は、青年部の方々ととのラウンドでしたが、皆さんの剛球・豪打に怯むことなくコツコツとプレーをした結果、ハンデにも恵まれ優勝することが出来とても嬉しく思っております。

次回も、多くの組合員の皆様とのラウンドを楽しみにしております。

優勝 鈴木邦浩「(有) マル浜鈴木紙業」

準優勝 安達浩明「(株) 須賀」

3位 松本和之「(有) 栄宏紙器」

ベストグロ 安達浩明「(株) 須賀」 83



第38回製本人懇親ゴルフ大会

理事 宮内啓悟



平成28年6月11日土曜 第38回製本人懇親ゴルフ大会（参加者93人）に東京協組から、

赤染理事長、齋藤理事、梨本理事と私、宮内の4人が参加しました。

ゴルフ場は川越カントリークラブで当日の天気は良く日陰は涼しく、日向は暑いくらいでした。

私たち4人は同じ組でOUT東コース、IN中コースと回り楽しくプレーして来ました。

結果はペリア方式で26位梨本理事、45位齋藤理事、70位赤染理事長、73位宮内理事でした。

齋藤理事と赤染理事長は飛び賞を頂きました。

清風会研修会及び納涼会

東京都製紙原料協同組合 事務局記

清風会研修会及び納涼会は、昨年に引き続き上野・東天紅で開催されました。昨年1年間は講演会ではなく、企業の事業紹介講習会でした。今回は講演会としては1年半ぶりとなりました。

研修会は、ハイブリッジコンサルティングの高橋美代子先生によるビジネスマナー・立食パーティーマナーでした。ビジネスマナーでは、基本的な名刺交換や電話の応対、来客時の応接室での応対等、普段当たり前に行っている接客動作の確認や注意点等を学びました。立食パーティーマナーでは、料理の取り方や食べ方等を学びました。広報誌では高橋先生の講演会で紹介したマナーについて、毎号テーマを変えてご紹介しようと考えています。詳しくは後半の記事でご紹介します。

研修会終了後は、納涼会の始まりです。総会後の慰労を兼ね、お酒に料理に会話にと楽しい時間をとりました。また、マナーでは清風会の坂田会長より歌った方が下りました。今後もこの会が続きます。



高橋美代子のマナー・アドバイス その1

ビジネスマナーとは・・・仕事をする上での基本。名刺交換、電話でのマナー、携帯電話のマナー、メールのマナー、言葉遣いのマナー、スピーチ（演説）のマナー、応接室でのマナー、接待のマナー、グローバル時代においては外国人との付き合い方。国際マナー等があります。

ビジネスマナー編

①名刺交換

名刺入れに乗せて交換します。一対一の場合、相手の取引先の立場が上の場合、またこちらが訪問した場合はこちらから先に名刺を出します。複数の方との名刺交換する場合は必要枚数を予め名刺入れから出しておき、上司から先に一人ずつ交換していきます。

と・・・こんな風に毎号ごとにテーマをしばらくご紹介していきます。

シリーズ化を予定していますので、どうぞお楽しみに！！



高橋美代子の略歴

- ・跡見学園高等学校卒業
- ・駒澤大学経営学部経営学科卒業
- ・装道礼法きもの学院卒業

- ・IIP（インターナショナル インターンシップ プログラム）スクールプログラム終了

【アトランタにて】

- ・IIP ビジネスプログラム終了【ワシントンにて】
- ・マンハッタン商工会議所インターン終了

【ニューヨークにて】

- ・株式会社ふじやす（特選呉服）取締役店長、現在取締役
- ・株式会社ハイブリッジ起業（ブティック経営、輸入卸）
- ・株式会社 May Jewelry Co.Ltd(国際宝飾見本市ラスベガス、ドバイなど事業拡大プロジェクト参加)
- ・三越本店特選サロン、他有名デパートにてファッションアドバイザーを勤める。
- ・PIS（プロイメージスクール）にてイメージコンサルタントのディプロマ取得
- ・AICI(Association of Image Consultants International) 試験合格
- ・米国国際イメージコンサルタント協会（AICI）、FLC(First Level Certification) 認定を受ける
- ・AICI 2010 Civility Star Award（功労賞）受賞



支部便り

山手支部・研修旅行

山手支部 鈴木一徳

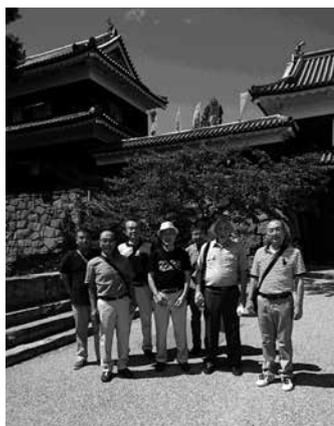
残暑厳しい9月3日～4日に、総勢7名と少ない参加者ではありましたが、山手支部の毎年恒例の研修旅行を実施しました。



今年は長野県にて、善光寺精進落としの温泉として江戸時代から栄えてきた戸倉上山田温泉にて研修と宴会を行い、翌日はNHK大河ドラマ「真田丸」で脚光を浴びている上田を散策しました。

行きの北陸新幹線は、途中の大宮で満席になるなか、仕事の悩み、業界の展望などを話し合い、旅館では、温泉に浸かって日頃の疲れを癒し、宴会では長井支部長の挨拶、篠田商店さんの音頭で乾杯し、宴も盛り上がり、信州の夜長を楽しく過ごすことができました。

翌日はガイドとともに上田城を散策し、信州上田真田丸大河ドラマ館を見学、信州名物のお蕎麦をいただいて、北陸新幹線で帰京しました。



古紙の発生が少なくなるなか、苦楽を共にする支部員同士の情報交換を活発に行い、お互い健康を維持しながら、毎年楽しい研修ができるよう、それぞれの社業の発展を祈念したいと思います。お疲れ様でした。

台東支部 納涼会を開催

台東支部 近藤達也

平成28年7月13日(水) 18時30分より浅草ビューホテル「中華料理 唐紅花」にて台東支部納涼会を開催しました。

今回も近藤作一商店さんに会場の手配をしていただき、本部から坂田副理事長にお越しいただきまして総勢8名の参加となりました。

坂田副理事長の乾杯の音頭で宴会が始まりました。ホテルの前にスカイツリーがそびえ立ち、地上27階からの下町浅草を一望する景色を眺めながらの食事は、広東料理をベースにした懐石料理で、厳選した素材を活かした中華とフレンチの両方の味わいを楽しめるものでした。

食事とお酒をいただきながら、情報交換や思い出話など話題は尽きず、楽しい納涼会となりました。最後に近藤昌和支部長の三本締めで閉会となりました。

文京支部 納涼会を開催

文京支部 梨本竜範

8月18日(木)に池袋にある「満留賀」で納涼会をしました。お店は地元の大柴様が幹事として用意してくださり、昭和44年からやってらっしゃる蕎麦屋で、参加人数は支部員と従業員を含めて16名で18:30より齋藤支部長の挨拶、乾

杯ではじまり、卵焼き、お刺身等々締めにお蕎麦を大変おいしくいただき、集合写真撮って散会になりました。文京支部は毎年、納涼会は支部員と家族、従業員が参加可で賑やかにおこなっていますが、今年は男性だけだったので、例年とは違う盛り上がりだった気がします。12月19日(月)の文京支部忘年会も楽しくできればと思います。



千代田支部 支部会開催

千代田支部 名古屋勝彦

7月11日(月)に千代田支部の支部会を開催しました。

場所：「菜の花」

時間：18:00～20:00

内容：7月6日に開催された文京・山手支部主催の「勉強会」の内容報告

出席者：9名



組合員の広場

組合事業紹介・事業部

(都市近代化事業組合の事業について)

ETCカード

指定の高速道路が割引運行出来ます。又、**首都高速**が割引で利用出来る事になりました。

(ご利用の場合は新しいカード作成が必要です)

ポイント可の高速道路でポイントが貯まると、その**ポイント分が無料走行**で使えます。

①「ガソリンカードのご利用」について ご存知ですか？

組合では、皆様のお仕事に少しでもお役にたてるよう色々な事業に取り組んでおります。

ここのところガソリン価格が高騰しております。

組合では、皆さまがお使いになっているトラックや乗用車のガソリン代を少しでも安く購入できる事業があります。

都市近代化事業組合が行っている事業を通じてガソリンを購入されますと・・・**全国平均と比べてハイオク・レギュラーガソリンが約3円ほど安く、軽油が約9円ほど安く購入できます。**

(その時の価格変動により大きく値動きがある事がありますが、あらかじめご了承ください)

専用のカードを作り、該当するスタンドで使用すると自動的に割引料金でカード決済されます。

*ETCカード、ガソリンカードのいずれも、組合に加入されている皆さまの特権です。

ご希望、ご質問は組合事務局までご連絡ください。

連絡先： 東京都製紙原料協同組合

電話 03-3831-7980

FAX 03-3831-7880

共同購入についてのお知らせ

プレス機のオイル交換について

共同購入委員会

組合を通じて通常より格安での交換が可能となります。

過去に実施した事業所では、処理のスピードや細かな対応について高い評判を頂いております。

見積もりを取って比較した結果して頂けると分かりますが、**1,000リッターのオイル交換で約5万円近い差が出ております。**

どうぞこの機会に是非、ご利用くださいますようお願い致します。

手続きは簡単です。組合にご連絡いただき「プレス機オイル交換申込書」を受取り、必要事項をご記入し組合宛てにお送り下さい。交換時のレートは2ヶ月に1度変更されますので実施時にレートをご確認願います。尚、給油条件により追加金が発生する場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

♪ことわざミニ知識♪

「蛙の子は蛙」

何事も子は親に似るものだという事。子は親の進んだ道を歩むものだという意味もある。

また凡人の子はやはり凡人だという時にも使う。総じて褒めるのではなく、けなす言葉として使う事が多い。

「瓜（うり）の蔓（かずら）に茄子（なすび）はならぬ」も同様の意味である。

しかし「鳶（とんび）が鷹を生む」という反対の意味の諺もあり、平凡な親から優れた子が生まれる事のたとえに使われる。

支部スケジュール

千代田支部

旅行会 9月26日（月）～27日（火）

箱根・強羅

支部会 10月 日にち未定 水道橋 菜の家

支部会 11月 日にち未定 水道橋 菜の家

中央支部

支部会 10月26日（水）場所未定

文京支部

支部会 10月18日（火）寿し常本店

支部会 11月18日（金）東明飯店

台東支部

支部会予定は未定

荒川支部

支部会予定は未定

足立支部

支部会予定は未定

山手支部

支部会 10月20日（木）鯨やなぎ

支部会 11月19日（土）鯨やなぎ

城南支部

支部会予定は未定

未定

江墨支部

支部会予定は未定

城北支部

支部会 10月・11月 予定は未定

お 知 ら せ

【10月会議・催事予定】

- 10月 5日(水) 共販輸出検討委員会(pm4:00～)
 “ 常任理事会(pm4:30～)
 理事会(pm5:30～)
 組合会議室
- 10月 6日(木) 古紙センター・紙リサイクルセミナー
 (pm1:30～pm4:20) 星陵会館
- 10月 18日(火) 古紙センター関東地区委員会
 (pm3:00～) センター会議室
- 10月 20日(木) 古紙センター業務委員会
 (pm2:15～) センター会議室
 “ 全原連役員会(pm3:15～)
 センター会議室
- 10月 20日(木)～23日(日)
 直納部主催海外研修 タイ
 「サイアムクラフト視察と近隣古紙ヤード」
 集合 10/19(水) 夜
- 10月 27日(木)～28日(金)
 青年部主催研修会
 「コアレックス信栄 & イノベタス」見学
 1泊2日

【古紙価格】

【東資協の古紙4品の標準売値】

平成28年8月9日現在

新聞	9円～12円(横ばい)
雑誌	7円～10円(横ばい)
段ボール	9円～11円(横ばい)
色上(並)	—

【組織変更】(代表者変更)

- ・中央支部：**むさし野紙業(株)** 小森 修 退任
新代表 安立 博信(代表取締役社長)
 平成28年6月

- ・山手支部：**(株)長井紙業** 長井義人 退任
 (取締役) → **新代表 長井健二**(代表取締役)
 平成28年6月
- ・中央支部：**(株)新央** 代表者 直江忠雄 → 会長に
 就任 **新代表 直江恵介**(代表取締役社長)
 平成28年8月
- ・江墨支部：**(有)石橋商店** 代表者 石橋駒雄
 → 会長に就任 **新代表 石橋隆寛**(代表取締役)
 平成28年8月

【訃報】

城北支部：**(株)辻商店**(代表者 辻 忠敏)のご尊父
 辻 博 様(享年84)が平成28年8月6日に
 ご逝去されました。

【その他】

熊本地震義援金について：

7月上旬、九州商組に目録と義援金の贈呈

会議概要 [6月・7月]

6月度定例理事会

[平成28年6月3日(金)] 於) 組合会議室

出席理事27名・監事0名

理事長挨拶

5月23日の総会が無事終わりました。ご協力有難うございました。又、終了後の打ち上げに参加された方々、ご協力感謝します。

関連団体の総会にいくつか参加しましたが、その中で全原連の総会が金沢で行われ、副理事長に就任しました。古紙市況は、製紙連合会からの報告によると、印刷情報用紙は25ヶ月連続でマイナス。板紙は横ばいか微増で発生が厳しいとの事。本日は討議する内容が多いのでご協力よろしくお願ひします。

[各部報告]**[総務部]**

組合会館のテナントが、なかなか決まらない状況がつづいている。引き続き、紹介等あったら教えて欲しい。

[直納部]

今月より上物共販輸出に加え、裾物（段ボール・ミックス）共販輸出が始まりました。

入札の結果、上物は前月より若干、上昇した価格で日本紙パルプ商事（株）が落札しました。仕向地は中国で業者の報告では「中国メーカー各社、塗工紙系の引合いは少ない」との事。上物の入札参加業者は他に（株）松本光春商店と国際紙パルプ商事（株）でした。

裾物では、段ボールとミックスを国際紙パルプ商事（株）が落札しました。仕向地は段ボールがベトナムでミックスは中国。業者の報告では「輸出国側の古紙需要が旺盛なため輸出力が制限されていますが、海外の製品価格は低位横ばいであることから輸入古紙の価格は伸び悩んでいます。特に米国品の対中価格が軟化傾向にあるため、6月の古紙市況に大きな盛り上がりはないと思われます」との事。裾物の入札参加業者は他に、日本紙パルプ商事（株）と新たに加わった日商岩井紙パルプ（株）の合計3社でした。

国内市況は、4月・5月は一部のメーカーで在庫が多く発注をカットしたところがあったようです。

[品目別]

[段ボール・新聞・雑誌] 段ボールの発注量は横ばいか一部増加。5月末の古紙在庫は潤沢。6月は休転も終了し操業は上がる見込み。段ボール原紙の生産は3ヶ月連続の増加で、関東地区は野菜中心に青果物が好調と共に飲料需要も増え出荷は上昇。輸出は下落基調か横ばい。

雑誌はメーカーの在庫は潤沢。慢性的な発生減から先を見越した購入姿勢を維持。白板製品の4月出荷は3ヶ月ぶりに減少。国内各社は安定的に古紙購入姿勢を継続。

新聞の古紙在庫は潤沢。新聞用紙の出荷量は2ヶ月連続減少。発行部数の減少は収まらず4月度新聞購読数が対前年比76万部減。中国国内の新聞古紙は発生が少なく価格は比較的高め。

[家庭紙] 産業古紙は5月の発生が悪く、特に印刷・出版関係の落ち込みが酷い。家庭紙メーカーは古紙在庫を持っている所が多いようである。

[オフィス系古紙] オフィス系古紙は落ち着いている。

[返本関係] 5月の発生は前年比で86%。本が売れない状況が続いている。発生が少ない為、需給バランスがとれている。

[集荷部]

5月の連休明けから集荷は良くない。製本会社で平日に休む所もある。6月に入り更に厳しい状況にある。

[広報部]

広報誌6月号は総会の内容が中心となり、現在、準備中です。各支部で行われる支部総会の記事も掲載しますので、支部長は期日までに原稿の提出をお願いします。

[事業部]

あんしん財団の損保加入が28年度上期で100人以上となった。9月までに150人の加入を目指す。

都市近代化事業協同組合からの情報によると、今のガソリンカードより更に安くなる業者と提携が出来たそうです。これからカードの切り替えを順次していくそうです。

[青年部]

6月9日に青年部親睦ゴルフを開催します。

[近代化推進委員会]

I T推進委員会より6月19日の全原連総会前に行われた委員会の議事録を添付しましたのでご覧ください。

I T委員長だった山室委員長が退任され、近藤國宏委員長に交代しました。

経営革新委員会の瀧本委員長が退任され梶野委員長に交代しました。

[支部報告]

支部日程：千代田支部：6/8 支部会、
中央支部：6/24 支部会、 文京支部：8月納涼会、
荒川支部：8/27 屋形船 山手支部：6/20・
7/19 支部会で8月は休会 9/3 支部旅行
江墨支部：6/18 支部会・7月納涼会
城北支部：7月支部会

[審議・検討・報告事項]

1. 仮称Pマークの名称は、正式にTSマークとする。マークのデザインは後日、作成し理事会で審議する。
6月23日の説明会は6月3日時点で8社8名が参加予定。
2. 熊本地震の義援金は理事会出席の理事から任意で徴収。尚、欠席理事には今月の行事の中で随時、寄付を募る。
3. 直納部の納涼会日程：8月25日（木）場所未定
4. 文京支部・山手支部共催の「勉強会」の案内を修正し事務局より組合員へFAX、及び送付する事となった。
5. 商工中金上野支店から当組合が通常総会60回を迎えたので、感謝状と記念品の授与を受けた。

集直合同委員会

[平成28年6月8日（水）] pm4:30

於）組合事務局

出席委員15名（直納11名・集荷4名）

家庭紙メーカーは、これからも産業古紙の発生が減少していく事を理解してきた。長年、会議で言い続けてきた効果が出てきた。

家庭紙メーカーは製品価格を下げないよう健全経営を目指している。

このところ、上物の市況は極端に変化がなく、発生は慢性的な不足となっている。原料の安定供給を大事にしていく。

現状は、問屋の在庫が各社少ない所が多い。家庭紙メーカーは、まずまず古紙在庫がある所が多い。機密系古紙が多く入っているようである。

印刷・出版関係の現状をより詳しく説明して現実を認識してもらおう。特に久しぶりに集荷に参加してもらい、集荷業者からの情報を伝える。

家庭紙部会の今後の進め方

- ①今のようなメーカーの古紙の買い方を続けてもらうよう伝える。
- ②引き続き古紙の掘り起しについて協力してもらおう。
- ③発生元の廃業が多い事を伝え、発生との関連を理解してもらおう。
- ④メーカーの直接回収は阻止していかなければならないので、確かな情報の収集をしていく。

古紙センター業務委員会

[平成28年6月16日（木）] pm2:15～

於）古紙センター会議室

- [1] 提示評議員会報告について
- [2] 臨時理事会報告について
- [3] 公益目的事業再構築の検討方法について

[4] 古紙の需要・市況動向について
 ＊ページ数の都合で割愛させていただきます。

全原連 平成28年度 第4回理事会報告

平成28年6月16日(木) 15:30～16:30

古紙再生促進センター

理事・監事65名：出席 33名

I 主要議題

- 1.九州商組へのお見舞い贈呈
 岩淵理事長へお見舞金贈呈が行われた。
- 2.感謝状贈呈
 瀧本元副理事長、山室元副理事長(代理 山室新太郎)へ感謝状と記念品の贈呈が行われた。

II 議 題

- 1.技能実習制度の取り組み
 6/16打合せを行った。(安城顧問、栗原理事長、梶野委員長)
 勉強会を6回行う(1回1時間程度 月に2回(3ヶ月間))
- 2.古紙商品化適格事業所認定申請
 (1)関東商組 2社2事業所の申請があった。
 関東商組の承認が得られ次第、理事会に上程
- 3.今期の近代化推進事業委員会及び各委員会名簿の作成
 各委員長は副委員長の選任(3名以内)と委員会名簿の作成を行い次回8/3理事会で報告する。
- 4.アジア紙リサイクル構築支援事業
 岩淵理事長(九州商組)に参加をして頂くことになった。
- 5.報告事項
 (1)各委員会活動報告(5/19開催)
 ・経営革新委員会
 古紙リサイクルアドバイザー認定試験を10月末を目標に実施する。

適格事業所要件に「暴対法」の項目を付加する
 (平成31年度適格事業所更新時に適用)

7/25～26熊本で委員会開催予定

(2) 需給委員会

各地区の市況交換を行った。
 備蓄対策について古紙センターから問屋の在庫能力調査アンケートの依頼があったら協力する。

(3) IT推進委員会

ルート回収システムの改善に向けた意見交換を行った。

(4) 渉外広報委員会

委員会報告後、次の提案が出された

各地域組合での昨年度の出前講座実態調査のためのアンケートを作成してみてはどうか

広報委員会でアンケート文案を作成し理事会に諮る

(5) 業務委員会(6/16日開催)

(6) 経産省との懇談会(6/7開催)

紙リサイクル安定化対策事業(旧 古紙余剰対策事業)の名称変更
 余剰対策のため備蓄場の設置(市街化調整区域内)などの検討

古紙センター関東地区委員会

[平成28年6月20日(月)] pm 2:00～

於)古紙センター会議室

[需要動向] 16/5月 単位トン、

()は対前年同月比、在庫の()は在庫率関

[東商組 32 社実績]

[新聞]	仕入	59,922(99.3%)
	出荷	61,044(100.7%)
	在庫	9,340(15.3%)
[雑誌]	仕入	53,426(96.4%)
	出荷	55,140(98.9%)

在庫	8,295(15.0%)
[段ボール] 仕入	133,898(103.6%)
出荷	135,409(104.4%)
在庫	10,977(81.0%)

[関東・静岡実績]

[新聞] 入荷	204,682(96.2%)
消費	218,695(102.3%)
在庫	162,141(74.1%)
[雑誌] 入荷	106,348(107.8%)
消費	103,321(101.1%)
在庫	50,657(49.0%)
[段ボール] 入荷	301,965(102.0%)
消費	293,035(97.7%)
在庫	118,703(40.5%)

[業者側コメント]

[新聞・雑誌・段ボール]

5月の発生は段ボールが若干の増加で他は前年を切っている。問屋在庫は低いまま減少が続いている。輸出価格は大幅な動きはないが、為替の動きで変わる可能性がある。

[上物古紙]

5月の東京協組43社上物古紙データでは、家庭紙向けが前月比で大きくマイナスで前年比でもマイナス、DIP向けが前月比でマイナス、前年比ではプラスとなっている。

家庭紙メーカーは今のところ原料入荷が順調の所が多いが十分ではない。問屋在庫は若干、増加したところがある。

[メーカー側コメント]

段ボールのシート生産は順調に推移している。6月の段ボール古紙の在庫は減少。

5月の新聞古紙は、発注が横ばい、入荷は順調、使用は計画通り、在庫は減少。6月も同様の予測。

5月の雑誌古紙は、発注は横ばい、入荷は計画通りかプラス、使用は計画通りかプラス、在庫は増加。6月は発注は横ばい、入荷は計画とおり、使

用はほぼ計画どおり、在庫は横ばい。

7月度定例理事会

[平成28年7月4日(月)]

於) 上野・東天紅8階「ルーキス」

出席理事31名・監事1名

理事長挨拶

イギリスのEU離脱表明の影響で為替が円高になっています。輸出価格はドル価格では上がっていますが、円価格では下がっています。国内メーカーは徐々に高値修正の要求が出てきている模様です。東京協組では上物を扱う業者が多いので、先行き不透明感が強くなってきている所です。本日は協議事項等、盛り沢山な内容となっておりますので宜しくお願い致します。

[各部報告]

[総務部]

組合会館のテナントが、なかなか決まらない状況が続いている。引き続き、紹介等があったら教えて欲しい。

[直納部]

7月度の共販輸出は、上物を国際紙パルプ商事(株)が落札しました。仕向地は中国で業者の報告では「輸出国側の古紙需要増により各国サプライヤーの供給余力が低下していることから、現地各メーカーの原料購入意欲が増しています。ただ、製品値上げが依然、滞っていることから、一定以上の価格で原料を購入する事が難しい状況にあります」

裾物では、段ボールとミックスを日商岩井紙パルプ(株)が落札しました。仕向地は段ボールがタイでミックスは中国。業者の段ボールに関する報告では「中国、東南アジアとも日本品に対する引き合いは強い。また、中国国内古紙もタイト、価格が上昇している」との事。業者のミックスに関

する報告では「G20開催の9月前に富陽地区で長い休転。そのため、7月～8月は比較的引き合いが強い。古紙在庫は少な目」

輸出市況は、底を打った感で、やや持ち直し気味。このところ為替が円高で輸出価格が下がっていたが、思ったほど影響はなかった。

[品目別]

[段ボール・新聞・雑誌] 段ボール：メーカーの5月原紙国内出荷は4ヶ月連続の増加。在庫は2ヶ月連続で50万トン台を下回った。7月度の国内メーカーの発注量は横ばい。

新聞：古紙在庫は潤沢であるメーカーが多い。7月度の発注量は横ばい。新聞用紙の出荷は3ヶ月連続の減少。発行部数減少は収まらず5月度新聞購買数が前年同月比マイナス80万部。各新聞社ごとの購買数では軒並み前年同月比でマイナス4～5%となっている。

雑誌：メーカーの古紙在庫は潤沢。ただし、慢性的な古紙の発生減から、メーカーの購入姿勢は変わらず、発注量は微増。白板紙製品動向は5月出荷が先月の減少から増加に転じている。

[家庭紙] 全般的に産業古紙の発生は低調で、洋紙の発生も低調。6月横ばい、7月に入ってもほぼ横ばい。メーカーでは製品の荷動きがどこも良くなり、生産が低調に推移している。需要減だが、メーカーは古紙問屋の古紙在庫の量を注視している状況。

家庭紙は円高によりパルプ物の製品価格が低いまま据え置きで、古紙物の荷動きに悪い影響が出ている。これから岳排の期間中、荷受けが厳しくなる所が出てくるのではないかと懸念される。

円高により中国からパルプ物のトイレット・ペーパーがかなり日本へ輸入されたが、臭いについてのクレームが出ている。

[オフィス系古紙] ほとんど変わっていない。

[返本関係] 前年対比90%が続いている。国内

販売は変わらず販売店も厳しい状況。輸出は為替の影響で価格が下がっている。返本は年末まで、このままの10%減の状態で終わりそうな感がある。今後、週刊誌を読む年代層を研究して販売部数の予想をたてていきたい。

[集荷部]

先月と変わらない。印刷・製本関係が良くない。出版関係が悪いのが気になる。

[広報部]

広報誌9月号は「時の視点」で支部共催の勉強会の内容を検討中です。「時の話題」では催事を中心に支部ごとの納涼会を掲載予定。実施した支部は写真付きで原稿を提出してほしい。

[事業部]

あんしん財団の損保加入を引き続き呼び掛けてほしい。ガソリンカードは、更に安くなる業者と提携が出来たので、現在、新カードに切り替え中です。

[青年部]

7月19日(火)に屋形船での納涼会を開催予定。

[近代化推進委員会]

5月19日の全原連総会前に行われた各委員会の議事録を添付しましたのでご覧ください。

経営革新委員会からの連絡で、今年10月末までに古紙リサイクルアドバイザーの更新試験を各単組で行う

[支部報告]

支部日程：文京支部：8/18 納涼会、台東支部：7/13 浅草ビュー納涼会、荒川支部：7/12 支部会、8/27 屋形船

足立支部：7/29 支部会、山手支部：7/21 支部会、8月は休会 9/3～4 支部旅行、

城南支部：7/5 支部会

江墨支部：7月青年部と合同納涼会、

城北支部：7/12 支部会

[審議・検討・報告事項]

組合脱退：文京支部 (有) 関口

代表者 関口 順 廃業 平成28年6月30日
付・・・原案とおりで可決

前回の理事会で仮称Pマークの名称は、正式にT
Sマークと決まったが、名称に意味合いを持たせ
るため変更したい。情報セキュリティ等の内容が
入るネーミングを今後、検討する事となった。

熊本地震の義援金が、理事及び青年部の一部から
募った結果148,000円になった。

組合からの寄付を加算して150,000円を7
月中旬までに全原連の九州商組に贈呈する。

理事の基本的な職務や役割についての教育を12
月の清風会で行う。講師は中央会へ依頼する。

古紙センター関東地区委員会

[平成28年7月19日(火)] pm4:00～

於) 古紙センター会議室

[需要動向] 16/6月 単位トン、

()は対前年同月比、在庫の()は在庫率

[関東商組32社実績]

[新聞]	仕入	59,519(99.5%)
	出荷	59,886(100.8%)
	在庫	8,973(15.0%)
[雑誌]	仕入	51,729(101.5%)
	出荷	51,732(97.7%)
	在庫	8,292(16.0%)
[段ボール]	仕入	135,629(102.9%)
	出荷	136,716(103.2%)
	在庫	9,890(7.2%)

[関東・静岡実績]

[新聞]	入荷	205,538(99.7%)
	消費	210,252(100.3%)
	在庫	156,588(74.5%)
[雑誌]	入荷	105,755(100.3%)
	消費	107,721(93.5%)
	在庫	47,594(44.2%)

[段ボール] 入荷	318,120(102.2%)
消費	329,259(106.3%)
在庫	107,806(32.7%)

[業者側コメント]

[新聞・雑誌・段ボール]

6月の古紙仕入は、前年比で段ボール・雑誌は増
加、新聞は減少。在庫は段ボール・新聞・雑誌と
も前月比で減少した。三紙会報告の6月古紙仕入
れは、前月比・前年比で3品とも減少し、7月の
仕入は前年比で段ボール例年並み、新聞・雑誌は
減少する見通し。

[上物古紙]

6月の東京協組43社上物古紙在庫データでは、
前月比と前年比で家庭紙向け全体で減少、DIP
向け全体では増加した。品種別では前年比で家庭
紙向けオフィスミックス、DIP向けケント、色
上がそれぞれ増加した。一部のメーカーでは在庫
を多く抱えており、在庫に逼迫感はない。一部家
庭紙メーカーでは過剰な製品在庫の安値販売によ
る調整が行われ、家庭紙向け古紙価格に影響が出
る可能性がある。

[メーカー側コメント]

新聞：6月の発注は横ばい、入荷は横ばい、消費
は計画通りで在庫は減少。7月の発注は横ばい、
入荷は横ばい又は低調、消費は計画通りで在庫は
減少する見通し。8月の発注は横ばいの予定。

雑誌：6月の発注は横ばい、入荷は順調又は低調、
消費は計画通りで在庫は減少。7月の発注は横ば
い、入荷は順調又は低調、消費は計画通りで在庫
は減少する見通し。特に静岡地区での岳南排水路
検査や一部メーカーで雑誌から段ボールへの振替
があり消費は減っている。

段ボール：6月の発注は横ばい、入荷は順調、消
費は順調で在庫は若干、減少。7月の発注は横ば
い、入荷は低調、消費は計画通りで在庫は横ばい
又は減少する見通し。8月の発注は横ばいの予定。

古紙センター業務委員会

[平成28年8月3日(水)] pm2:15～

於)古紙センター会議室

- [1] 公益目的事業等再構築について
- [2] 集団回収実施団体への感謝状贈呈について
(静岡・近畿地区委員会推選)
- [3] 紙リサイクルセミナーについて
- [4] 第5回日中古紙セミナーについて
- [5] 標準品質規格の一部改定について
- [6] 平成27年度古紙開梱組成品質調査事業調査結果報告。
- [7] 平成28年7月～12月の段ボール・新聞・雑誌の消費計画 *最終ページ参照
- [8] 古紙の需要・市況動向について
*ページ数の関係で割愛させていただきます。

広報誌 表紙写真募集の件

広 報 部

皆様には日頃より組合活動にご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

組合員の皆様から表紙を飾る写真を公募したいと思っております。下記のとおりで、奮って写真をご応募ください。お待ちしております。

募集要項

募集写真：白黒またはカラー写真

焼き付け または 添付ファイル

題 材：風景、季節、催事を扱ったもの

提出時期：随時

募集写真提出先：

〒110-0016 東京都台東区台東3-16-1

東京都製紙原料協同組合 事務局

TEL 03-3831-7980

FAX 03-3831-7880

E-mail : info@kosi - tokyo.or.jp

編集後記

広報部部長 清水 弘允

思い出がいっぱい詰まった夏が、過ぎ去ろうとしている。

リオのオリンピックでは日本人選手が大活躍。ときにはハラハラドキドキ、ときには拍手喝さい、ときには一緒に涙したのが、次第に過去の事のように思えてくる。

夏が始まる時、渇水で水不足が心配されたが、さすが台風が連続して来襲した今、報道されないとはいえ、貯水池は満杯になったであろう。

雨が降らなければ水不足になるし、雨が降りすぎれば災害を引き起こす。

丁度いいところは中々ない。

古紙も例外ではないだろう。相場は需要と供給で決まるとはいえ、古紙は発生物だから需要があるから仕入れようと思っても紙消費が減ってくれば供給も減る。供給が減るなら需給バランスが崩れて価格が上がるかと言えば、それも簡単ではない。昔と違い古紙は輸出商品でもあるから為替動向も関係している。因果関係が複雑で、なかなか答えが出ない。

秋は食べ物がおいしい季節。酒の肴を求めて英気を養うしかないか。